

スポ推よこすか



平成27年6月22日 発行

発行責任者 横須賀市スポーツ推進委員協議会会長 武 雅兄

平成27年度 協議会 基本方針

日頃のご協力に対して、厚くお礼申し上げます。
総会で承認されました横須賀市スポーツ推進委員協議会の方針について、簡単に説明いたします。

今年度の目標

- ◆ ニュースポーツ（ソフトバレーボール・ラジオ体操）の普及
 - ◆ スポーツ推進委員の資質の向上
 - ◆ 協議会事業・研修会への参加者数増加
- の3点としました。

今年度の新規事業

- ① 県教育委員会保健体育課の「朝ラジプロジェクト」・横須賀市の「生涯現役プロジェクト」に呼応した新しい事業として、ラジオ体操を普及するために「スポーツ推進委員対象ラジオ体操サポーター養成講座」

- ② 昨年の学区対抗児童球技大会での不適切行為再発防止のために、「倫理と食育の講演会」を計画しました。

スポーツ推進委員間の交流と活性化事業

地区別交流会／スポーツ推進委員ソフトバレーボール大会と続けて参りましたが、ややマンネリ化し参加者数も伸び悩んで参りましたので、1年掛けて新たな方法を検討します。

次の時代の協議会のために

- ① スポーツ推進委員の選出方法
 - ② スポーツ推進委員の定年制度
- についても研究していきたいと考えております。

今年も事務局の協力をいただきながら、多くのスポーツ推進委員参加の下で、充実した協議会運営を行っていききたいと思います。

横須賀市スポーツ推進委員協議会会長

武 雅兄

横須賀市スポーツ推進委員協議会 平成27年度（2015年）事業計画・予算 ガイドライン

成人のスポーツ実施率の向上

組織

平成27年度目標

- 1、ニュースポーツの普及を図る。
横須賀のニュースポーツを見つけよう。ラジオ体操の指導者になろう。
- 2、スポーツ推進委員の資質の向上を図る。
研修会・研究大会へ積極的に参加しよう。
- 3、事業への参加者を増やす。
スポーツ推進委員も市民も・・・

HPの活用

みんなが読みたくなる、アクセスしやすくなるHPを目指します。実施事業の結果報告や皆さんへのお知らせを中心に、日常の協議会活動を可視化し、HPを持っている県内他市と情報交換を行い、参考にする。

2020年東京オリンピック・パラリンピックは
生涯スポーツに市民権を与え、予算をつけるチャンスです！

検討項目

- みんなが参加できるスポーツの推進
- 事業へ参加者を増やす工夫
- 指導者の倫理・食育の知識を学ぶ
- 市民のための新しい事業の企画
- スポーツ推進委員の選出方法
- 地域での認知度・社会的地位向上
- 体育振興会の在り方の研究
- 60周年記念事業準備

予算案

皆さんからいただいた協議会会費は、極力公平に、また有効に、執行するようにつとめます。

- ① 事業費
- ② 会議費
- ③ 研修費
- ④ 広報費
- ⑤ 雑費

スポーツ推進委員に求められる条件

- 分かるように話すプレゼンテーション能力
- 組織を運営するマネジメント能力
- 事業（イベント）の企画力・実行力
- 指導できるスポーツを！
- 好奇心と向上心
- 社会人としてのマナー

平成26（2014）年11月10日
横須賀市スポーツ推進委員協議会
会長 武 雅兄

総会報告 新体制

平成26年度年度末・27年度新年度総会が5月15日（金）勤労福祉会館（ヴェルクよこすか）6階ホールにて行われました。

当日は年度末総会に74名、新年度総会に87名のスポーツ推進委員の方が出席されました。



総会前に、26年度地域体育振興功労者1名、スポーツ推進委員感謝状18名に、教育委員会青木教育長より感謝状の授与がありました。

受賞者の皆様おめでとうございます。

引き続き、スポーツ推進委員委嘱式が行われ、青木教育長より協議会を代表して馬堀学区の武雅兄氏が辞令を受け取りました。



その後、野比学区・内村氏の議長で総会の議事に移りました。

例年通り、昨年度事業・決算・監査報告、新年度事業計画・予算案を討議して全議案が議決されました。



また、今年度はスポ推改選時期に当り年度末総会後会長・副会長の選出が選考委員長桜学区の池田氏より提案され現会長・副会長が再選されました。

議事終了後臨時理事会が開催され、武会長より平成27年度事業計画の説明と新常任理事の提案があり、承認されました。

〈平成27年度新体制について〉

10年後の協議会を担う人材を登用し、さらに、60周年記念事業を準備するためベテランを配置した組織としました。なお、広報部は事業部とともに行動することが多いので、事業統括の中の組織に変更しました。

総務統括 鈴木貞 総務部2名 池田、金森
経理部2名 滝瀬、新倉

事業統括 石川 事業部3名 内村、田面、小菅
研修部3名 内村、細川、佐藤晶
広報部3名 鈴木幸、新堀、岩松
特命事業部（60周年記念事業担当）

林 1名 阿部
HP担当1名 林

監事 2名 小川、村上

〈60周年記念事業〉

平成29年に迎える協議会発足60周年に向けて、「記念事業」「記念式典」「記念誌」「記念品」の4事業を行います。

武丸が船出して4期7年目になります。

スポ推の皆さんの協力で大海に出ても遭難しない強固な船にしていきましょう。

また、地域に愛され信頼されるスポーツ推進委員を目指しましょう。



記事 副会長 石川 輝雄（森崎）

新任研修会

新任研修会に参加の方お疲れ様でした。

27年5月16日（土）の午前中に、諏訪小学校を会場に行われました。

参加者は25年度新任2名・26年度新任2名及び27年度新任の方が14名と、研修会をささえるベテランのスポーツ推進委員9名及びスポーツ課職員が3名の合計30名が参加して行われました。



1部として三橋スポーツ課長から「非常勤職員としてのスポーツ推進委員」について講義を受けました。

また、横須賀市スポーツ推進委員協議会、武会長より、パワーポイントを用いて、「スポーツ推進委員とは?」・「スポーツ推進委員の役割」や地域での活動や横須賀市の行事への参加についての講義が行われました。

2部は、体育館でソフトバレーボールを体験をしました。

感想として、新任の皆様の真剣なまなざしを見て、スポーツ推進委員としての今後の活躍が期待できると確信しました。

記事 副会長 鈴木 貞男（大楠）



普通救命講習会に参加して

5月23日（土）普通救命講習会が横須賀メインアリーナ第一体育室にて、中央消防署坂本出張所隊員の指導のもとスポーツ推進委員16名参加で開催されました。

横須賀市の救急車の出動件数は、年間約2000件・一日平均約5件だそうです。



救急車が到着するまでに平均8分。その8分の間に私達が出来る事、救命の連鎖である心肺蘇生（胸骨圧迫と人工呼吸）・AEDの使用方法を2組に別れ一人一人実践・確認しつつ学びました。最初はたどたどしかった動作も流れるように出来るようになりました。



「生命を繋ぐ！」その手伝いが出来るのは素晴らしい、日常何気なく過ごしている私達にとっては改めて心に残る言葉でした。言葉だけでなく万が一AEDを使用しなければならない場に遭遇したら、皆に声を掛け一歩踏み出してみる勇気が大切ではないでしょうか。

質疑応答も活発に行われ有意義な講習会でした。

記事 広報部長 鈴木 幸子（汐入）

写真 広報部 臼井 喜八郎（森崎）

学校体育授業サポート講習会

2月15日(日)に、学校体育授業サポート講習会が、諏訪小学校にて行われました。

この講習会は2年前から始まり、我々スポーツ推進委員が、市内の小学校側の要請により実際に小学校に赴き、体育の授業の補助をする「学校体育授業サポート事業」を理解し、サポーターとしての必要な知識や技能を身に付ける事を目的とする講習会です。



講師の三橋スポーツ課長の座学から始まり、場所を体育館に移し、スポーツ課職員のアシスタントも得て実技を学びました。

座学では、現代の小学生の体力測定の結果の推移等を聞き、体を動かせる環境が減ってきているので仕方ないとは思いますが、自らの子ども時代と比べて体力が下がってきていると感じました。



実技では3グループに分かれ、テーマによってリーダーを選出し、基本的な身体の動きの理解や小学生に指導する時に、有効な成果を褒めて伸ばすことを学びました

1年目の25年度は1校、2年目の26年度は2校への派遣とまだ実績は少なく、小学校の体育担当教諭との連携や授業のため平日になる事等、課題もあるのかなと感じました。

この講習会を受講しなければ学校体育授業サポーターにはなれませんので、次回は多くの方に受講していただき、サポーターの数を増やして、たくさんの学校から要請が来るようになれば良いと思いました。

記事・写真広報部 岩松 芳宣(豊島)

ニュースポーツ研修会

2月22日(日)久里浜小学校体育館で、ニュースポーツ研修会を32名の参加のもと開催しました。

小雨でグラウンドゴルフは中止となり、スポーツ吹矢を学びました。講師には日本スポーツ吹矢横須賀支部会長田村博雄さん他5名の方に、基礎編と実践形式で指導を受けました。



スポーツ吹矢とは、6~10m離れた円形的のめがけ息を使って矢を放ち、得点を競うスポーツです。競技では1ラウンド(3分以内)に5本の矢を吹いて、規定によるラウンドを競技し、その合計点を競います。的は中心の白い部分が7点、その外側の赤い部分が5点、その外側の白い部分が3点、さらに外側の黒い部分が1点です。

実際に体験してみても一番印象深かったのが、腹式呼吸をベースにしたスポーツ吹矢式呼吸法です。

この呼吸法は精神集中や血行促進、細胞の活性化に役立ち、内臓の諸器官にもよい影響を与え、また精神力・集中力が身につくとのことでした。

田村さんは「性別や年齢に関係なく、体の不自由な方もゲーム感覚でできるスポーツ」と言われていました。みなさんも始めてみませんか?

記事・写真 副会長 林 但(富士見)

編集後記

広報部のみなさま、お疲れ様でした、ご協力ありがとうございます。満足できる紙面を作成すべく、今後も努力・精進しますので、ご協力よろしくをお願いします。

広報部 新堀 邦明(富士見)